

第36回

うつのみやこども賞だより

令和元年度 3回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『ゆかいな床井くん』

戸森しるこ／著（講談社）



令和元年8月4日

うつのみやとしょかん
Utsunomiya city library

～読んだ本の感想より～

- いろいろな場面があって、おもしろかった。
- 面白い！！すごく面白い！！何回も読んでしまいました。床井くんがすごく良い人で、面白くて笑っちゃいました。「無職」を「無色」と言ったり…。面白くてイッキに読みました。暦たち（クラスメイト）も個性的で笑いが止まりませんでした。
- 床井くんとミケを中心に物語があって、一章ごとに出来事や人物が変わって面白かった。
- 床井くんがおもしろくて、とても読みやすかったです。
- 床井くんは自分のクラスにいたら、確かに人気になると思った。1つ1つのお話がおもしろくて、ただの日常生活でもこんなにおもしろいことが起こっていて、読んでいて楽しかった。

『部長会議はじまります』

吉野万理子／著（朝日学生新聞社）

- ジオラマ事件が解決してよかったです。ぜんぜん違うてんかいでおもしろかったです。
- 部活の事件をそれぞれの人物を活かして解決していくところがすごくいいなと思った。
- 話の進み方はとてもおもしろかった。ストーリーの中にも入りやすかったし、1人1人の登場人物の個性も分かり、良かった。
- 1人1人の個性がとても豊かだいいなと思いました！！ジオラマ事件の解決に向かってみんなで協力する所も良かったです。
- 一章ごとに主人公がかわっていくところがよかったです。文化部と運動部も最後には問題が解決するところがよかったです。

『つくられた心』

佐藤まどか／著（ポプラ社）

- 超おもしろかった。+1、0話がすごいと思った。
- 章の題名の書き方が面白かったです。結末が予想と違く、驚きました。友達関係の話で自分に当てはめやすかったです。日本の未来を見ているようで面白かったです。
- 未来の学校やアンドロイドにきょうみを持ちました。誰がアンドロイドなのかが知りたくて、進んで読みました！！
- 4冊の中で1番おもしろかったです。みんな、この学校に入る前はいろいろあった人たちで・・・というストーリー性がよかったです。
- ストーリーが現実ではなくて未来の話みたいで、想像しながら読むとおもしろい。

『マレスケの虹』

森川成美／著（小峰書店）

- 「ノーレイン ノーレインボー」この言葉がすごくいいと思った。戦争が始まって書かれた「JAPS GO HOME」。これを見たら、なんだか悲しくなった。
- 戦争ものと聞いて、こわいイメージの本だったけど、読んだら読みやすく、そんなにこわくなかった。
- とても感動したし悲しかったけれど、マレスケの気持ちがよく分かってよかった。
- 表紙はあまり好きそうじゃないと思ったけど、読んでみるとおもしろかった。マレスケのいろんな感情がわかりやすかった所もいいと思った。感動する。
- 日本の戦争の話だと暗いイメージがあるけれど、ハワイの人だとそんなに暗くはないので、さすがハワイの人だと思った。